

保育園・幼稚園向け 研修資料

テーマ：砂遊びで育てるクリエイティブ教育

対象：保育士・幼稚園教諭・子育て支援関係者

第 1 章：研修のねらい

本研修は、幼児期の“砂遊び”に着目し、その中に含まれる創造的学び・社会性の育成・問題解決能力の発達といった非認知能力の獲得プロセスを理解することを目的とします。単なる遊びにとどまらない“砂遊び”の奥深い教育的価値を再発見し、保育現場での実践に役立てることを目指します。

第 2 章：砂遊びの教育的価値

- ・ 創造力を育てる（自由な造形活動、物語を語る）
- ・ 自己表現と集中力の向上（思考を手で表現する）
- ・ 構造的思考の基礎（崩れたらどう直すか、試行錯誤）
- ・ 社会性と協調性の育成（道具の貸し借り、共同制作）
- ・ 自己肯定感と達成感の向上（“自分でできた”体験）

第 3 章：実践の工夫とヒント

- ・ “テーマ”を設けて誘導（例：どうぶつの村／秘密の道／地下迷宮）
- ・ 道具や素材を工夫する（スコップ、枝、木の実、水）
- ・ 作品に名前をつけさせる（自分で決めることで自己認識が深まる）
- ・ 保育者の声かけは“観察”と“共感”を重視（「なぜそこに道を作ったの？」）
- ・ できれば“記録”を取る（写真とコメントで成長が見える）

第4章：事例紹介（国内外）

- ・フィンランド：砂場は教育カリキュラムの一環として位置づけられ、自由な遊びの時間が重視されている。
- ・ニュージーランド：Te Whāriki では、砂遊びを通じた創造的・協働的な活動が“学び”として明記されている。
- ・日本のある園：毎週“砂の日”を設け、テーマ活動・観察・記録を保護者と共有するなどの取り組みがある。

第5章：ふりかえりとアクションプラン

以下の問いについて、グループで話し合ってみましょう。

- ・自園では、砂遊びをどう扱っているか？
- ・どのような子どもたちの変化が見られるか？
- ・来週から取り入れたい新しい声かけ・工夫は？
- ・保護者にどう“学び”として伝えるか？